

社会福祉法人 風祭の森

風祭の森通信

第34号

2026年 春号

社会福祉法人 風祭の森

理事長 石川修

〒250-0032

神奈川県小田原市風祭 563

TEL:0465-24-6561

FAX:0465-21-6506

mail@kazamatsurinomori.or.jp

「令和7年度 ちいきふくし博 開催報告」

2月4日から6日の3日間、地域活動支援センターひまわりが事務局となり、足柄上地区の市町と障がい福祉関係事業所等の協力のもと「ちいきふくし博」を開催しました。昨年は参加者が福祉関係の方に偏ってしまい、地域の皆さんに十分届かなかったことが課題でした。



絵画コンクール表彰式には南足柄市長、松田町長をはじめ、多くの方々に参加していただきました。



店舗ブースでは各事業所の個性がでます。



利用者と一緒に準備「共に作るイベント」を心掛けています。

そこで今年は、小田原支援学校に加えて、開成町の学生服店「マルク」様にもご協力いただき、若い世代にも情報が届くよう工夫しました。今回、イベント周知に協力いただいたマルク様からは「地域社会の一員として『ちいき、ふくし』を考えるきっかけとなる取り組みになりました」とのご感想をいただきました。

会場では、新しい取り組みとして「ポッチャ体験コーナー」を設置し、子どもから大人まで楽しみながら福祉に触れていただける場となりました。また、足柄上地区自立支援協議会 権利擁護部会が制作した、障がい福祉をわかりやすく紹介するスライドショーも上映し、地域の事業所との連携を深める機会にもなりました。

今回のイベントを通して、福祉をより身近に感じてもらうとともに、地域の皆さんと関係機関がつながる大切な時間となりました。

QRコードから、すべての絵画作品がご覧になれます。

ぜひアクセスしてみてください♪



虐待防止に向けた法人研修を実施

令和8年2月17日、法人全職員を対象に虐待防止研修を開催しました。講師には、みなと横浜法律事務所弁護士の内嶋順一氏をお招きし、「障害者虐待防止とあるべき本人との関りについて」をテーマにご講義いただきました。

今回の研修は、虐待防止に関する法定研修としての位置づけに加え、事前に実施した職員アンケート結果を踏まえ、わたしたちの日々の支援をあらためて振り返る機会として開催しました。アンケートからは、支援が職員個人の経験や慣習に頼ってしまっている可能性があるなど、日常のあたりまえを見直す必要性が見えてきました。

今回の研修を通じて、あらためて職員一人ひとりがこれまでのあたりまえを見つめ直し、より良い支援につなげる大切な機会となりました。今後も継続して学びを深め、支援の質の向上に努めてまいります。



ARS訪問看護ステーション

言語聴覚士(ST)門脇様

入居当初は不安な様子も見られましたが、現在はニコニコ笑顔です。訪問すると好きな歌手や曲の話をしてくれます。おしゃべりはお口の体操にもなるので、これからも楽しくお話ししていきます。

理学療法士(PT)浜野様

新しい環境でも少しずつ和さん色に染めていきながら楽しく過ごされています。好きな音楽のこと、外出の時に買いたい物、食べた物を楽しそうに話してくれます。これからも大好きな外出やイベントに参加できるように良い姿勢を目指して頑張っていきます。

訪問看護師様

いつも元気に対応して下さり、デイサービスの連絡帳なども情報共有させていただいております。グループホームでの生活も安定されております。

成年後見人(グループホームオーナー)

太陽の門の皆様、おだわら虹の会の皆様、そしてご支援いただいた多くの皆様のおかげで、住み慣れた我が家を改装したグループホームに戻ってくることができ、うれしい限りです。厚く御礼申し上げます。

新型コロナの影響もあり、入所当初は面会もままならない時期もありましたが、現在は姉の歩や同居の皆さんとともに、にぎやかで穏やかな日常生活を送っております。幸せな毎日を過ごしていることを、心よりありがたく感じております。今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

入所からグループホームへ ～新たな暮らしへの第一歩～

グループホーム入所にあたって(ありんこの会)

開設当時のグループホームで働いてくださっている職員は重度の障害を持つ方の介助をしたことがなく、1からのスタートでしたが、相談事業所、ヘルパー事業所の多くの方々からのご協力を受けながら運営してきました。また、太陽の門の担当の方をはじめ職員の方々にも、リフトのレクチャー等沢山の協力をして頂き、2人の願いを多くの方々に支えて頂いていることに感謝です。当法人スタッフは『2人の笑顔を決やさないように』と思い運営しています。2人もそれぞれの思いを持っていると思いますが、その思いが遠心力となり『縁』になるよう、共生社会を作っていくために、他事業所や関係者の方々もご協力を今後とも宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人 おだわら虹の会 小杉典弘様

ご本人・ご家族

寺島和(なごみ)さん

入所施設からグループホームへ転居して半年が過ぎました。毎日色々なことがありますが、とにかく楽しい生活をしています。特にスタッフさんや入居者さんと今日あったことなど、たわいもない話をする、手作りのご飯がおいしいこと、日中はいくつかのデイサービスへ行けることが嬉しくて、何より姉と一緒に生活できることが幸せです。

寺島歩さん

一歩先にグループホームへ入居し、少し遅れて妹が入居しました。まだ新しいことには慣れていないこともあるようですが、父と母と一緒に暮らしていた時と同じように喧嘩したり、分かり合えたり、今では離れていた時間が遠い昔のような気さえします。一緒にいることが当たり前だった頃に戻れたことを実感しています。

太陽の門 兵頭診療部長

グループホームでは、スタッフが常駐していないことでしたので、便処置のタイミングに合うように下剤の調整をし、訪問看護を受けるのに必要な指示書を作成してスムーズに移行できるように努めました。

太陽の門 PT・OT

家屋調査にて生活環境を確認し、本人の体と住環境に合わせた車いすの検討・作製をしました。

リフターを導入し、1~2名で移乗介助できるように生活環境内の動線の検討、介助者への使用方法の伝達を行いました。

また、スマホを簡単なスイッチで操作するシステムを導入し、緊急時に電話を発信出来るような方法を提案しました。ご本人が実際に使用できる環境を整え、入所中に練習を行い、グループホームスタッフへ引継ぎました。

太陽の門 重症心身障害児(者)施設(入所施設)

入所された当初は、自分の気持ちがうまく伝えられないこともあり、話しやすい環境を整えました。

グループホームに行くことが決まってからは、そこでの過ごし方や、やりたい事などの楽しみなことを話す一方、夜間に職員が不在なため不安があることなど心配な点についての話もありました。心配な点については、担当者会議で関係者全員で共有し、グループホームでの外泊体験や夜間に何かあった時に連絡が取れる緊急スイッチの導入など、本人の不安を少しでも和らげるよう対応を心掛けました。

太陽の門 相談員

ご本人の強い思いが支援チームを突き動かし、諦めず一歩ずつその歩みを進めることができた経験は、私自身にとって大変貴重な経験でした。前例のない制度運用にご理解いただいた行政担当者、夜間緊急時の通信システムの構築に何度も挑戦したりハビリススタッフ、施設入所スタッフ、床走行リフトの導入に際し多大なご尽力をいただいた福祉用具事業者の担当者、そして何より地域生活を持続可能にしていくための訪問介護、訪問看護、グループホーム、生活介護、その他たくさんのサポートして下さった皆様、心より感謝申し上げます。(黒田彩)

太陽の門 デイサービス

デイサービスでは同世代の利用者さんと大好きな歌手のお話で盛り上がり、入浴時は湯船に浸かり気持ち良さそうな表情でリフレッシュする事が出来ています。

今後も日中活動の充実や他者との交流の機会を大事にしながら、和さんらしい暮らしを支えていきます。

福祉新聞に掲載されました

週刊福祉新聞2026年3月17日号

神奈川 重症の姉妹GHに入居

自宅改装、施設を退所



小杉さん(右端)に笑顔で声を掛ける姉の和さん。姉の歩さん(左端)との暮らしを楽しんでいる。

【神奈川】「障害者施設からグループホームへ」という見出しで、神奈川県の福祉新聞に掲載された記事の抜粋。記事内容は、重度の心身障害児(者)施設からグループホームへ転居した姉妹の事例について、施設長や関係者のコメント、転居後の生活の様子などを詳しく紹介している。

新採用職員紹介



- ① 河井歩(かわいあゆみ)
- ② 看護課
- ③ 観葉植物を育てること
- ④ ご縁に感謝し、笑顔を大切にがんばろうと思います。

- ① 早野琴加(はやのことか)
- ② 相談室
- ③ ピアノ・パン屋巡り
- ④ 初めての職種ですが、精一杯がんばります。

- ①名前
- ②所属
- ③趣味・特技
- ④ひとこと挨拶

- ① 入澤明美(いりさわあけみ)
- ② 看護課
- ③ ヨガ・散歩
- ④ 寄り添う関わりを大切にします。

- ① 大畑恵利(おおはたえり)
- ② 看護課
- ③ ギター練習とカメラ
- ④ 寄り添ったケアができるようがんばります。

- ① 府川純子(ふかわじゅんこ)
- ② 看護課
- ③ 家でまったり
- ④ まだまだ慣れない事だらけですが、笑顔でがんばります。



採用情報

～専門性の高いチームケアで利用者さんに寄り添っています～

■支援スタッフ

- ・配属先 太陽の門 重症心身障害児(者)施設(日夜勤)
- ・勤務地 小田原市風祭563

■支援スタッフ(保育士・児童指導員)

- ・配属先 放課後等デイサービス「きゃんばす」(日勤)
- ・勤務地 小田原市風祭563

■看護師

- ・配属先 太陽の門 重症心身障害児(者)施設(日夜勤)
放課後等デイサービス「きゃんばす」(日勤)
- ・勤務地 小田原市風祭563

■ヘルパー

- ・配属先 ヘルパーステーション
- ・登録事業所 地域支援センター(開成町)
- ・勤務日数、時間(応相談)



■相談員

- ・配属先 相談事業所
- ・登録事業所 地域支援センター(開成町)



見学随時受付中 お気軽にお問合せください。

0465-24-6561

mail@kazamatsurinomori.or.jp

※QRコードからホームページへ



令和8年度 予算決定のお知らせ

(令和8年度3月10日理事会承認)

単位:千円

勘定科目	本年度予算額	前年度予算額	増減比較
障害福祉サービス等事業収入	497,963	483,718	14,245
医療事業収入	361,118	348,472	12,646
その他収入	6,578	6,480	98
事業活動収入計	865,659	838,670	26,989
人件費	640,151	624,752	15,399
事業費	94,403	91,314	3,089
事務費	114,530	105,977	8,553
その他支出	6831	5916	915
事業活動支出計	855,915	827,959	27,956
施設整備等収入計	0	0	0
施設整備等支出計	4,030	0	4,030
施設整備等資金収支差額	-4,030	0	-4,030
その他の活動資金収支差額	0	0	0
当期資金収支差額合計	5,714	10,711	-4,997

編集後記

新緑がまぶしい季節となりました。今回の広報誌を作成する中で、支え合う力を改めて感じました。次号もどうぞお楽しみに。